

高齢者福祉施設等における歯科保健に関するアンケート調査結果概要

- 調査対象** 県内の特別養護老人ホーム107施設、介護老人保健施設44施設、認知症高齢者グループホーム185施設（合計336施設）（回収状況 59.3%（185施設/336施設））
- 調査項目** 歯科健診等の実施状況、協力歯科医療機関の有無、口腔ケアの実施状況等
- 調査時期** 令和4年12月22日（木）～令和5年1月16日（月）
- 調査結果**

○入所者が定期的に歯科健診を受ける機会は35.1%（図1）と**前回調査53.3%（H28年度）より低い**。
 <内訳>

R4年度：特別養護老人ホーム34%、介護老人保健施設27.3%、認知症高齢者グループホーム37.3%
 H28年度：特別養護老人ホーム51.2%、介護老人保健施設57.5%

○協力歯科医療機関がある施設は94%と前回調査（93.4%）とほぼ同じであった。

○認知症がある入所者の口腔ケア、食事支援等について、「常に困難」「しばしば困難」を合わせると**52.9%**と半数を超えている。（図2）

○施設職員が定期的に専門職（歯科医師、歯科衛生士）から口腔ケア等についての研修等を受ける機会は49.2%（図3）と、**前回調査（59.8%）より低い**。

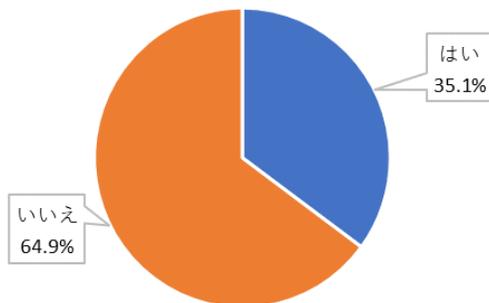


図1 入所者が定期的に歯科健診を受ける機会

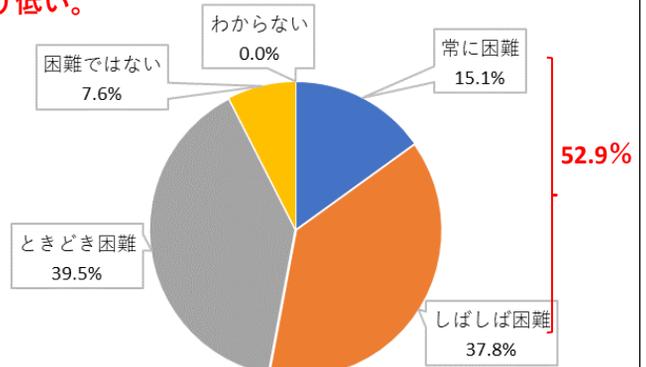


図2 認知症のある入所者の口腔ケア、食事支援・介助が困難

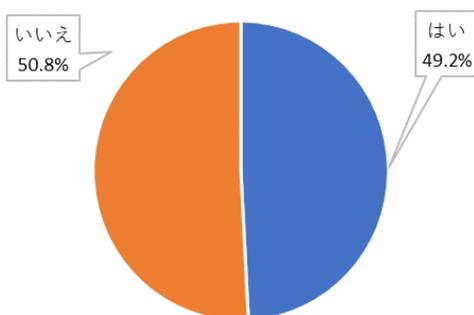


図3 定期的に歯科医師や歯科衛生士から口腔ケア等について研修や技術的支援を受ける機会

5 参考

歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（要介護高齢者）

- ・介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施率の増加
 最終評価（直近値）33.4%（令和元年） 目標値 50%（令和4年度）